

宮城大学大学院看護学研究科学位論文審査基準

【宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程（研究能力養成コース）審査基準】

1) 学位論文（修士）の研究主題について

- ・ 独創性がある
- ・ 看護学、看護実践への貢献性がある
- ・ 今後の研究発展の可能性が認められる
- ・ 新規性がある

2) 学位論文（修士）の構成について

|              |                                                                                                                                                                                               |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究題目         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究題目に、研究内容を反映した key words が含まれている</li><li>・ 意義ある研究であることが伝わる表現である</li></ul>                                                                            |
| 研究目的         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究題目に即した文献検討に基づき、研究背景が整理され、研究課題が明確に示されている</li><li>・ 看護（学）の問題・課題の全体像を明確にし、研究の位置づけが示されている</li><li>・ 研究目的が明確に示されている</li><li>・ 研究の意義について明示されている</li></ul> |
| 研究方法         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究目的に応じた研究デザイン・研究方法（対象の選定、データ収集方法、分析方法）が、選択されている</li><li>・ 研究方法が明確かつ具体的に記述されている</li><li>・ 信頼性・妥当性、真実性・確実性を保証する方法が示されている</li></ul>                     |
| 研究結果         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究方法に基づいて、必要なデータが十分に収集されている</li><li>・ 研究目的に沿って、分析結果が記述されている</li><li>・ 図・表等は、分かりやすく提示されている</li></ul>                                                   |
| 考 察          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 目的に沿って、論理的に展開されている</li><li>・ 結果に基づき、解釈に矛盾や飛躍がない</li><li>・ 文献が適切に活用されている</li><li>・ 看護の実践の変革・改善や看護学への貢献性が示唆されている</li></ul>                              |
| 研究の<br>限界と課題 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究の限界と課題が述べられている</li></ul>                                                                                                                            |
| 結 論          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 得られた結果、考察から、結論が導かれている</li><li>・ 簡潔明瞭に、記述されている</li></ul>                                                                                               |
| 倫理的配慮        | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本学の研究倫理審査委員会の承認を得たことが記載されている</li><li>・ 研究過程のすべてにおいて、倫理的配慮がなされている</li></ul>                                                                            |
| 論理構成         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究主題・目的・方法から結論に至るまで首尾一貫した論理構成である</li><li>・ 明解、一貫性、論理性のある論旨が展開されている</li></ul>                                                                          |

3) 口頭試問について

- ・ 研究内容を分かりやすく説明できる
- ・ 質問に対応して自分の言葉で説明できる
- ・ 講義・演習等の学修すべてを通したディプロマポリシーを達する内容を述べられる

**【宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程（専門看護師養成コース）審査基準】**

専門看護師養成コースでは、課題研究による学位論文（修士）である。

1) 学位論文について

- ・ 看護実践への貢献性がある
- ・ 今後の研究発展の可能性が認められる
- ・ 課題解決の方向性が示されている

2) 学位論文構成について

- ・ **【宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程（研究能力養成コース）審査基準】**の2) 論文構成についての審査基準に準ずる
- ・ ただし、研究活動時間数が少ないことから生じる研究規模の縮小等を考慮する

3) 口頭試問について

- ・ **【宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程（研究能力養成コース）審査基準】**の3) 口頭試問についての審査基準に同じ

**【宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程審査基準】**

1) 学位論文（博士）について

- ・ 独創性がある
- ・ 生涯健康支援看護学における位置づけが明確であり、看護学、看護実践への貢献性がある
- ・ 発展性がある
- ・ 新規性がある
- ・ 国際的視点がある

2) 学位論文（博士）の構成について

- ・ **【宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程（研究能力養成コース）審査基準】**の2) 論文構成についての審査基準に同じ

3) 口頭試問について

- ・ **【宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程（研究能力養成コース）審査基準】**の3) 口頭試問についての審査基準に同じ